

法律の 現場から

145

「カジノ法」に ついて

弁護士 篠原宏二

7月20日、統合リゾート（IR）実施法いわゆるカジノ法が成立しました。国民の約7割が成立させる必要がないと考え、全国紙4紙の社説も法案に批判している中での強行採決です。

カジノ法はあまりに問題が多いと思います。カジノができれば、ギャンブル依存症となる人が増えることが考えられます。借金をして、生活苦となり、精神的な病にもなる人を増やしていいはずがありません。カジノ資金が暴力団等に流れる懸念も大きく、治安の悪化も問題です。勤

勉な日本人の精神性にも合わないと思います。

政府は、アメリカから、カジノ産業の利益を拡大しようとする圧力を受け、成立を急いだと考えられます。

今後も、問題が多いカジノを防ぐべく、声を上げていく必要があると思います。

